若手・非-常勤職研究者支援に関するアンケート集計結果

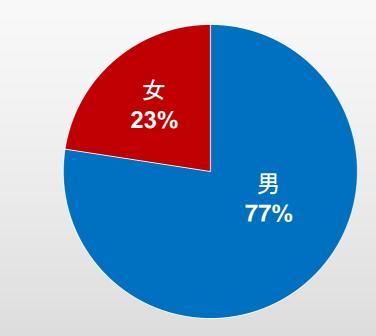
2014年4月

目次

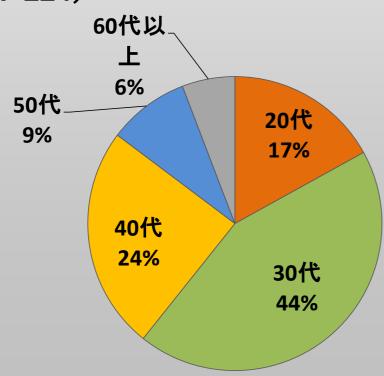
- 回答者の統計
- グラフ化にあたって
- Q1.1現在、大学院生および非一常勤研究者に対して、迅速に対応すべき問題は何だと思いますか。 (生活面・就業面、研究面)
- Q1.2 こうした問題に改善の兆しが見られないのは、何が原因と考えますか
- Q1.3現今の大学教員職(非常勤職も含む)の採用形態について、どのような問題があると思いますか
- Q1.4現今の日本学術振興会の研究支援について、どのような問題があると思いますか
- Q2日本哲学会および人文社会系の学会は、大学院生および非一常勤職研究者に対して、どのような支援策を講じるべきと思いますか。

回答者の統計

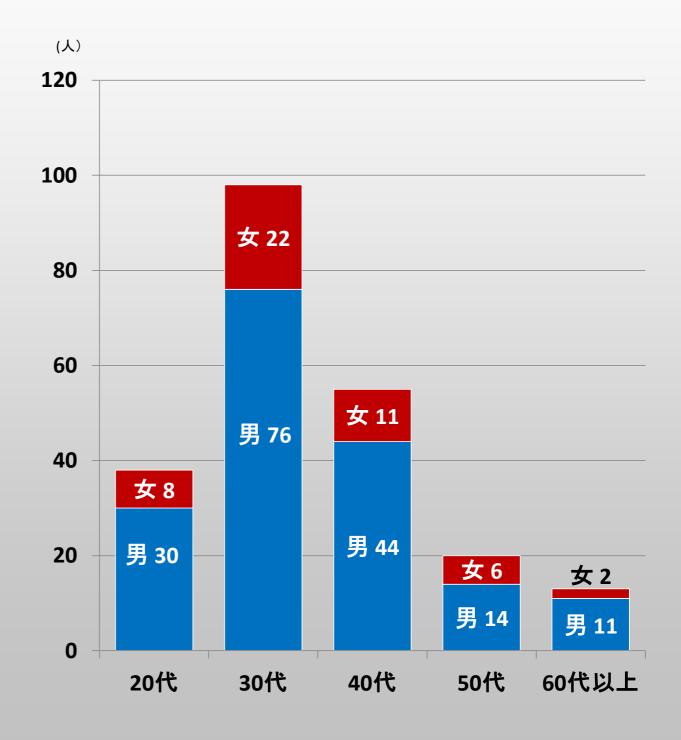




■年代(n=224)



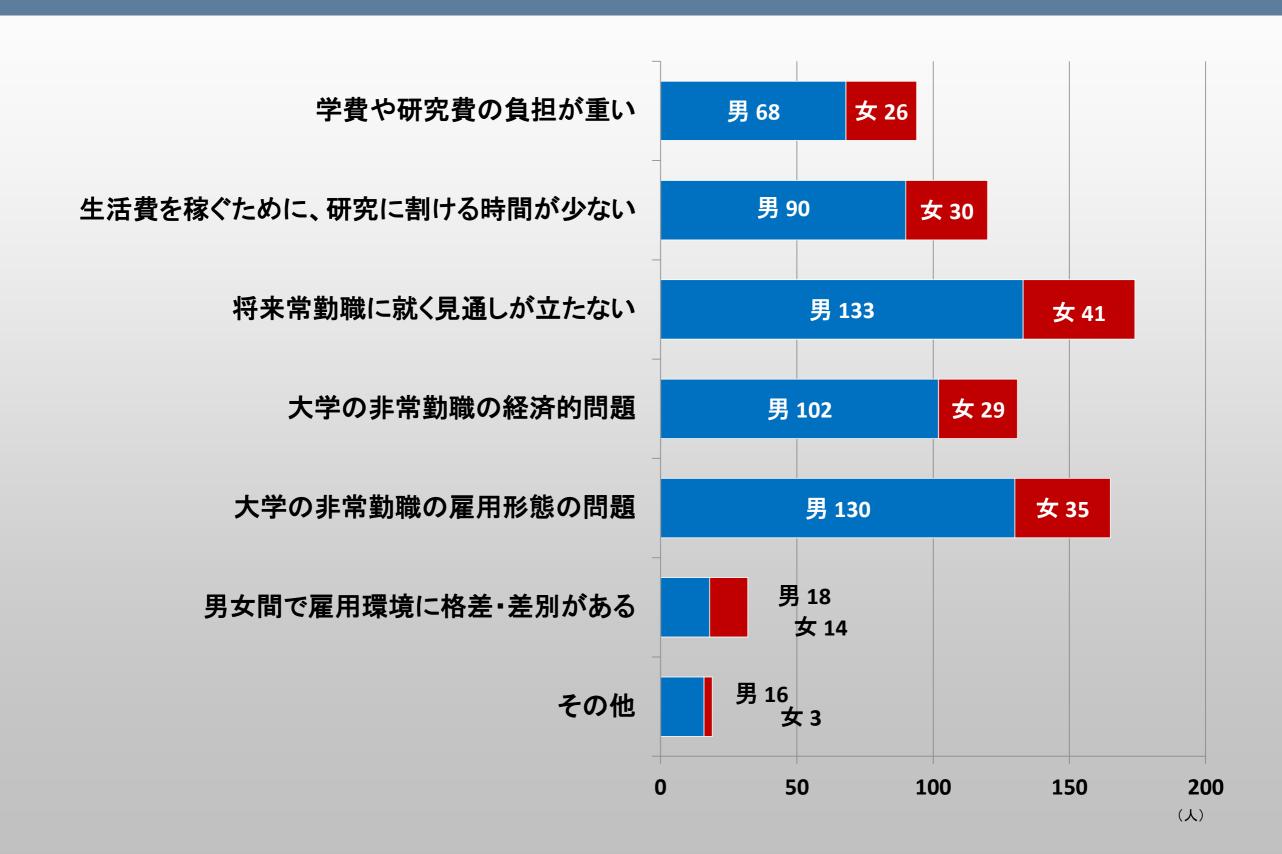
■性別×年代(n=224)



グラフ化にあたって

- 1. 複数選択可の設問については、回答別に、性別についての積上げ棒グラフ、年齢についての100%積上げ棒グラフで表示します。
- 2. 年齢別の統計はサンプル数が少ない部分があります。参考値として表示しました。(60代以上など)

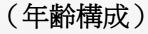
● 現在、大学院生および非一常勤研究者に対して、迅速に対応す 1.1 べき問題は何だと思いますか/生活面・就業面(複数選択可)



○ 現在、大学院生および非一常勤研究者に対して、迅速に対応す 1.1 べき問題は何だと思いますか/生活面・就業面 (複数選択可)

20代38

25



学費や研究費の負担が重い

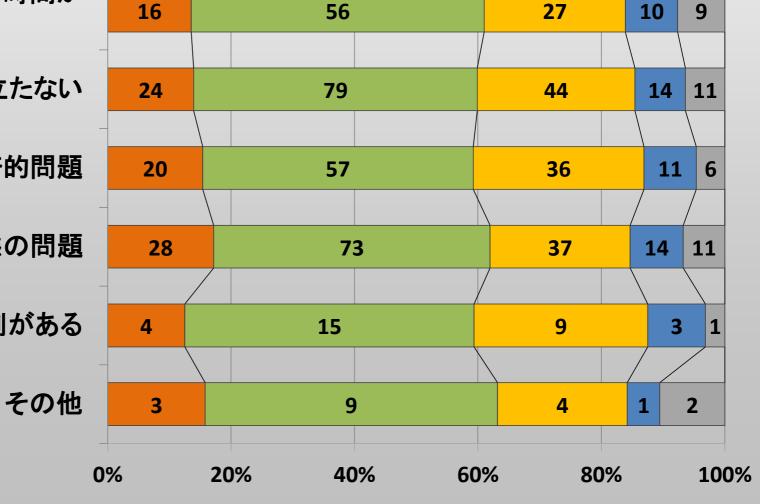
生活費を稼ぐために、研究に割ける時間が少ない

将来常勤職に就く見通しが立たない

大学の非常勤職の経済的問題

大学の非常勤職の雇用形態の問題

男女間で雇用環境に格差・差別がある



30代98

31

60代

以上

13

6

50代

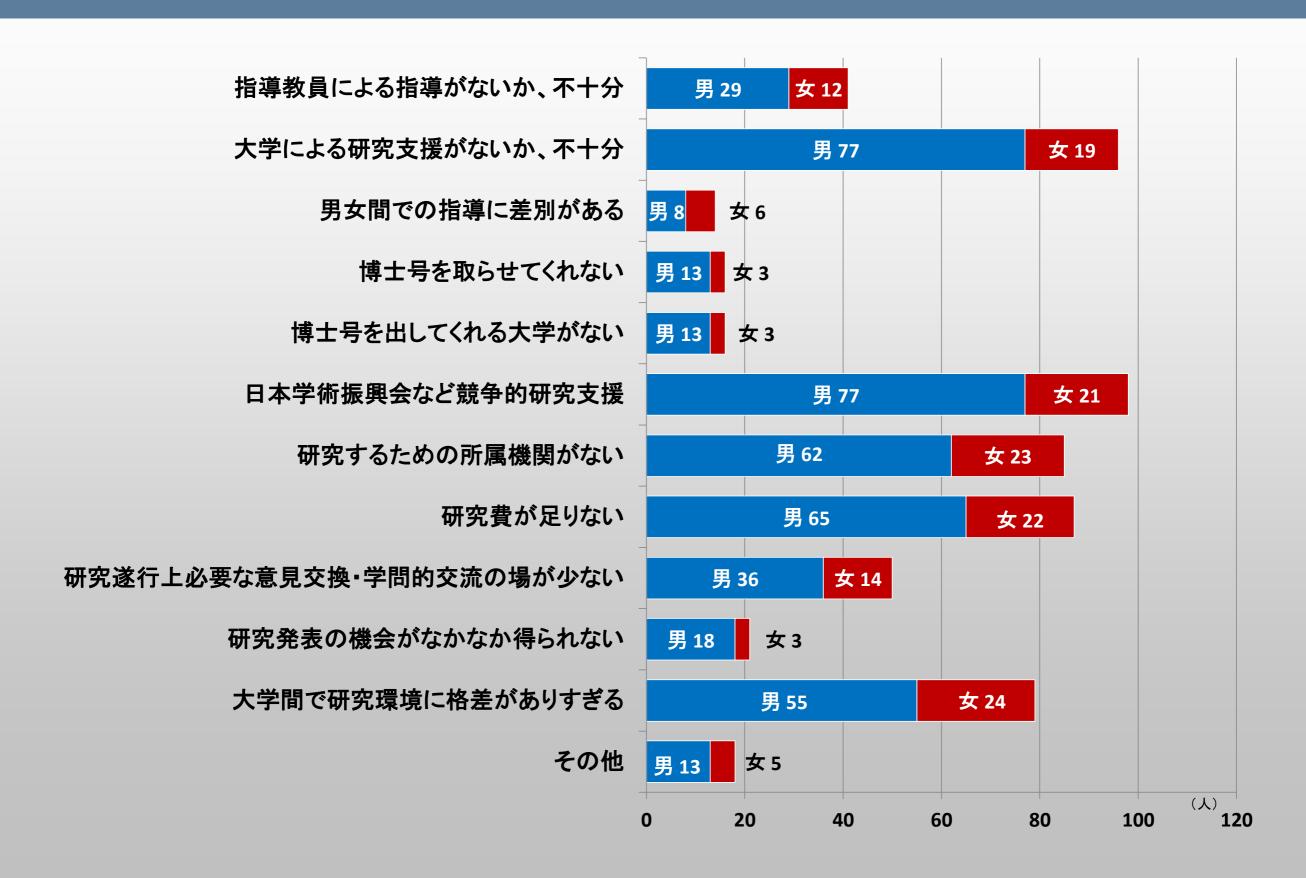
20

9

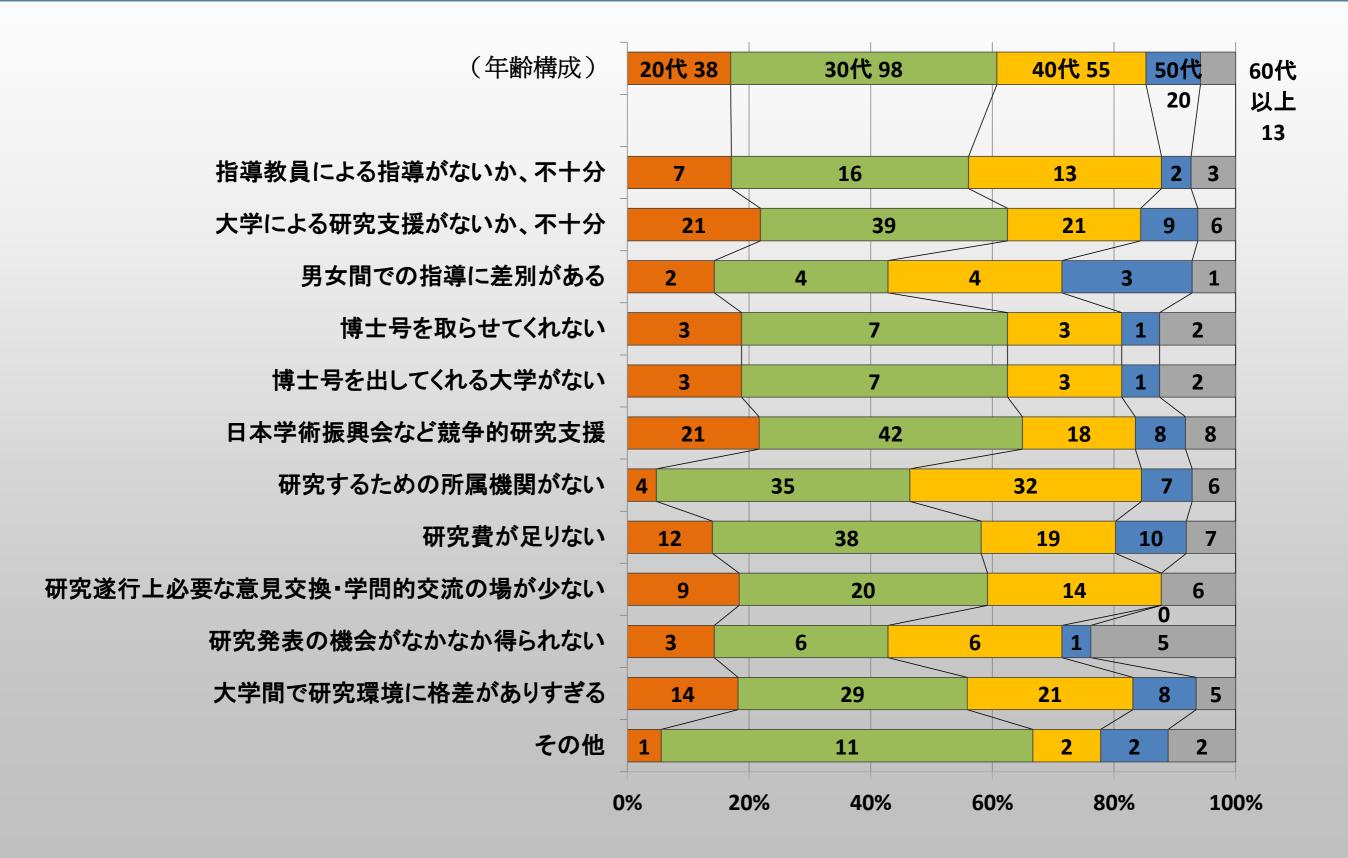
40代 55

22

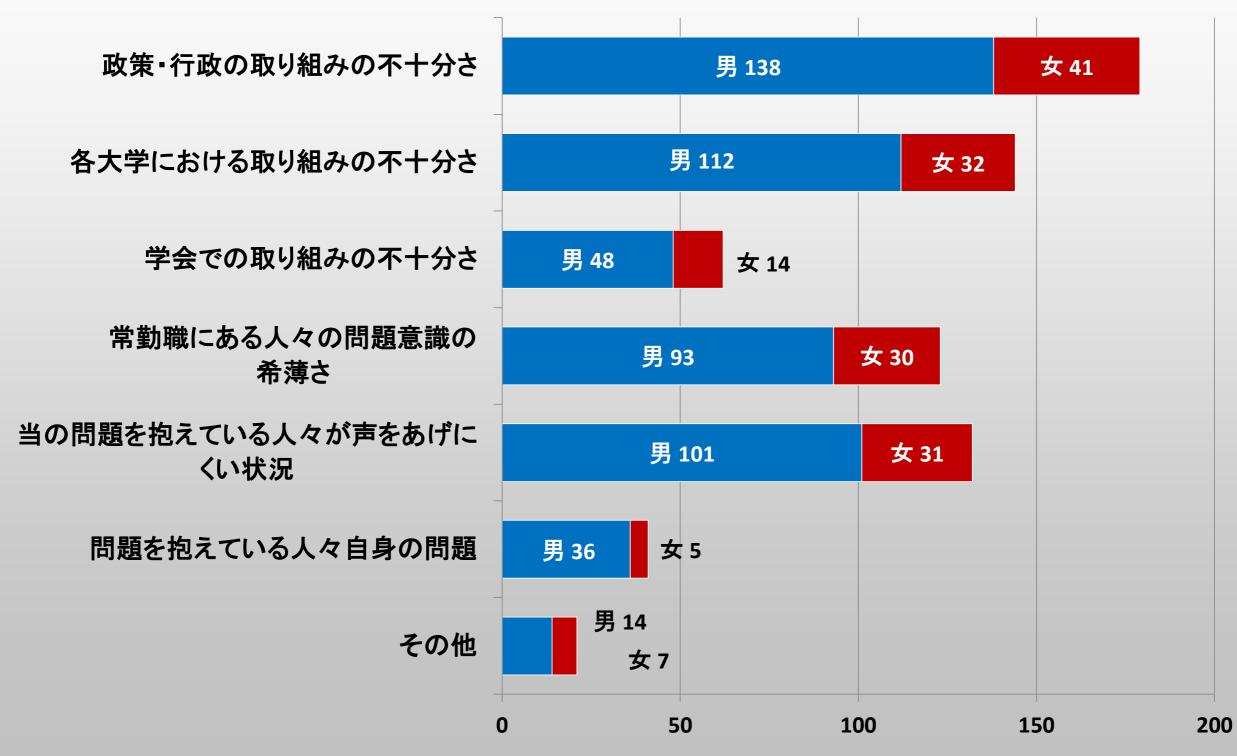
① 現在、大学院生および非一常勤研究者に対して、迅速に対応す 1.1 べき問題は何だと思いますか/研究面(複数選択可)



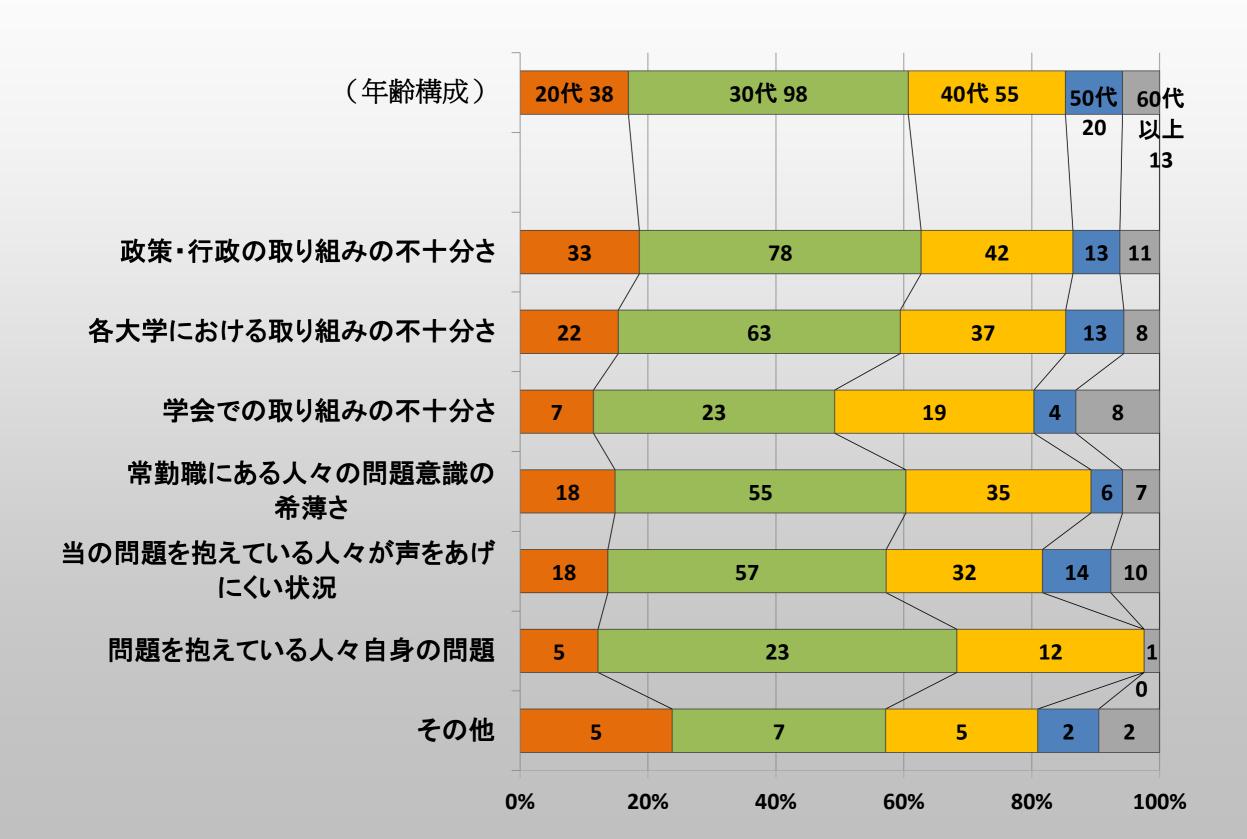
○ 現在、大学院生および非一常勤研究者に対して、迅速に対応す 1.1 べき問題は何だと思いますか/研究面 (複数選択可)



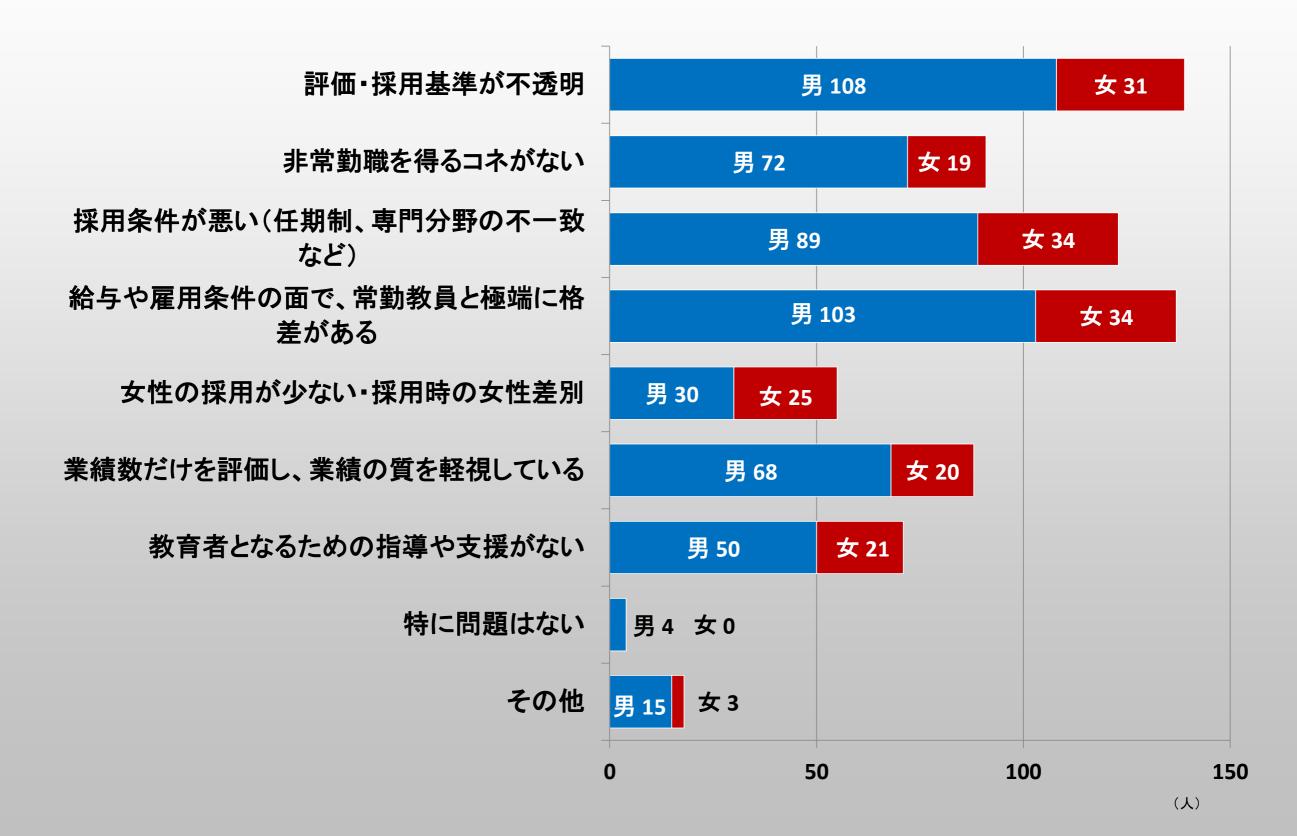
$Q_{1.2}$ こうした問題に改善の兆しが見られないのは、何が原因と考え1.2 ますか (複数選択可)



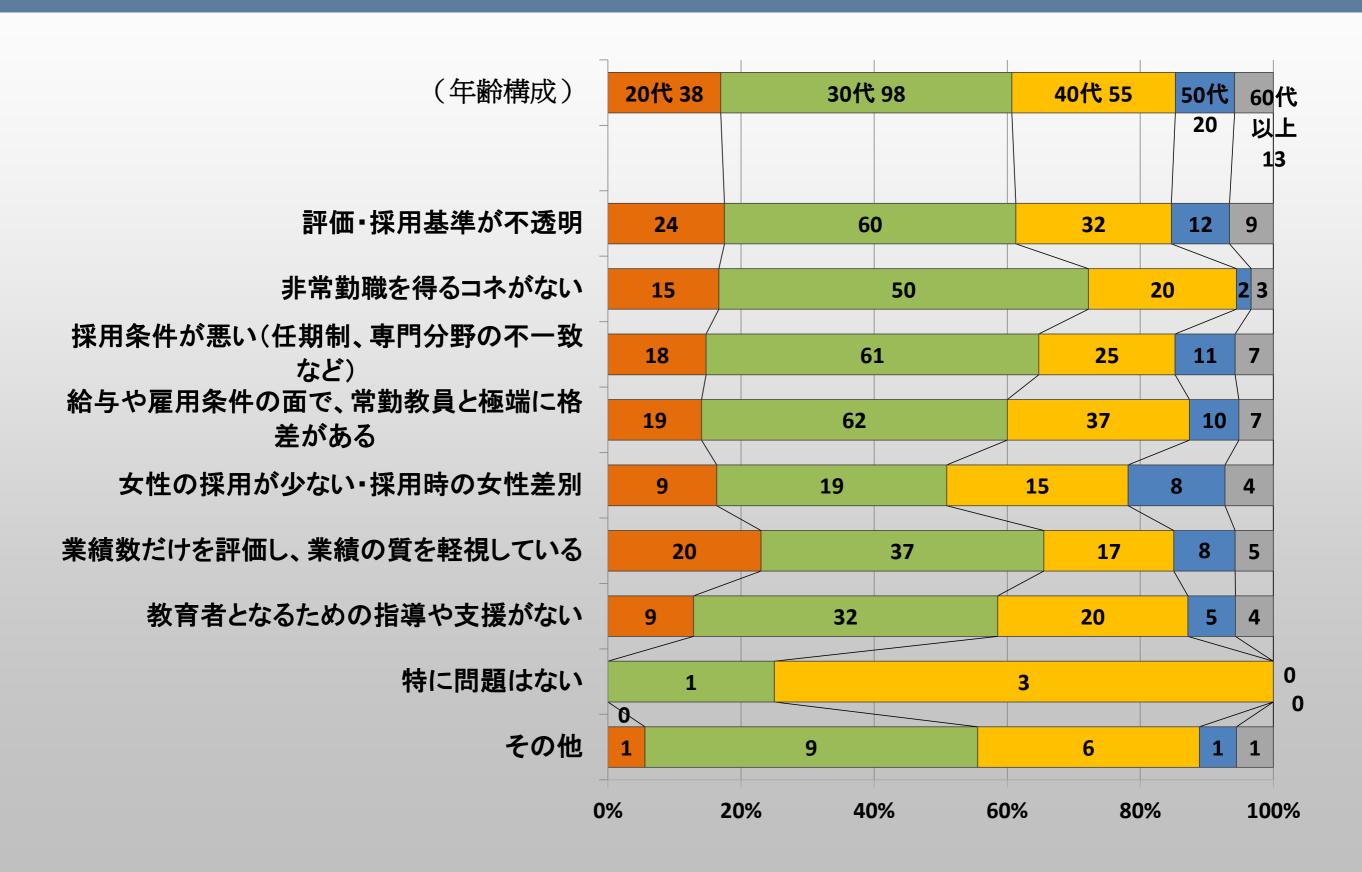
$Q_{1.2}$ こうした問題に改善の兆しが見られないのは、何が原因と考え1.2 ますか (複数選択可)



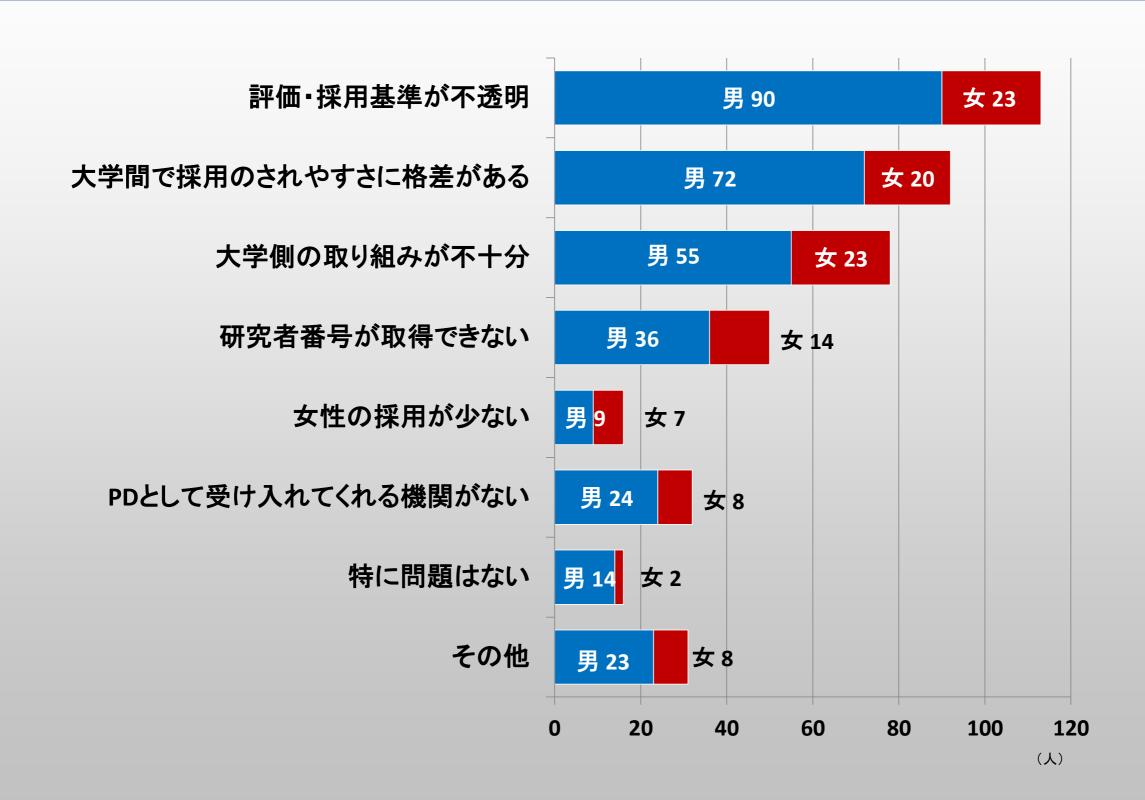
Q 現今の大学教員職(非常勤職も含む)の採用形態について、ど 1.3 のような問題があると思いますか (複数選択可)



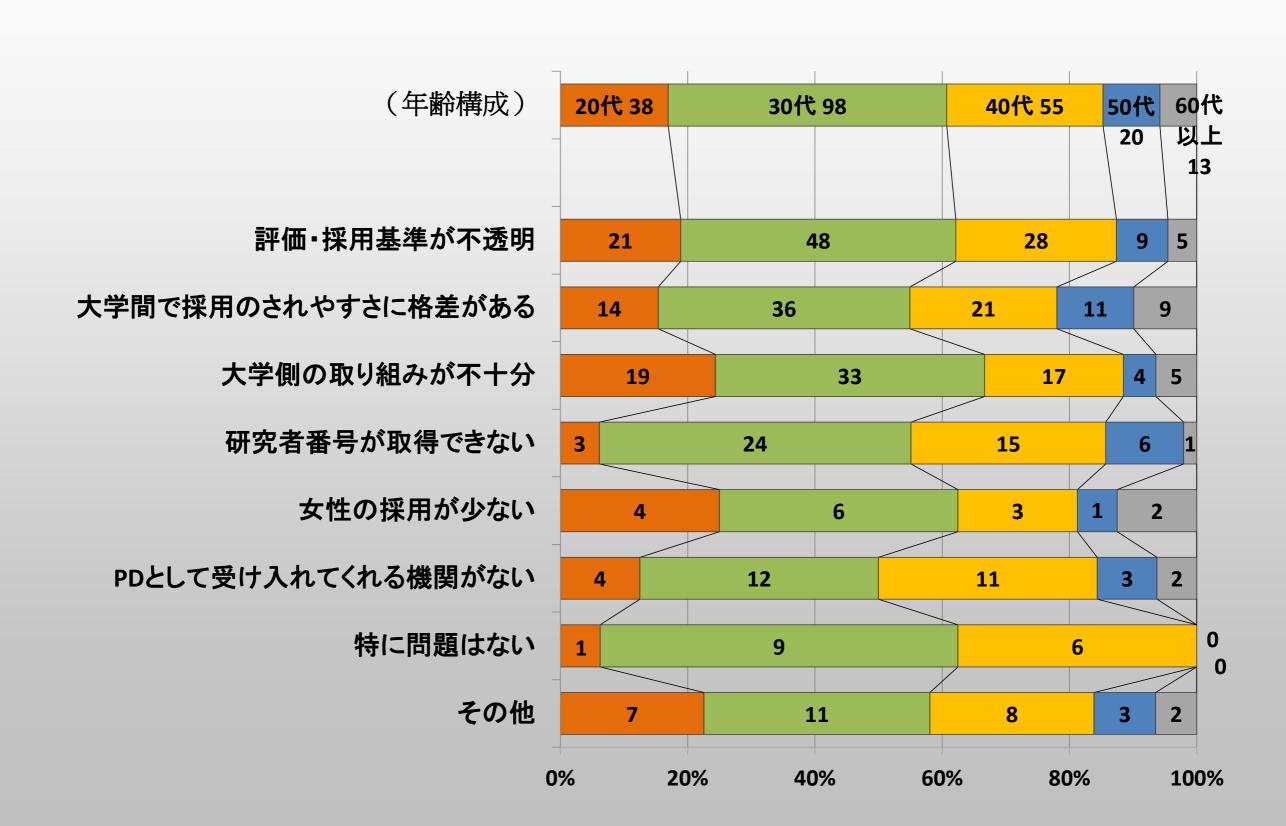
Q 現今の大学教員職(非常勤職も含む)の採用形態について、ど 1.3 のような問題があると思いますか (複数選択可)



● 現今の日本学術振興会の研究支援について、どのような問題 1.4 があると思いますか(複数選択可)

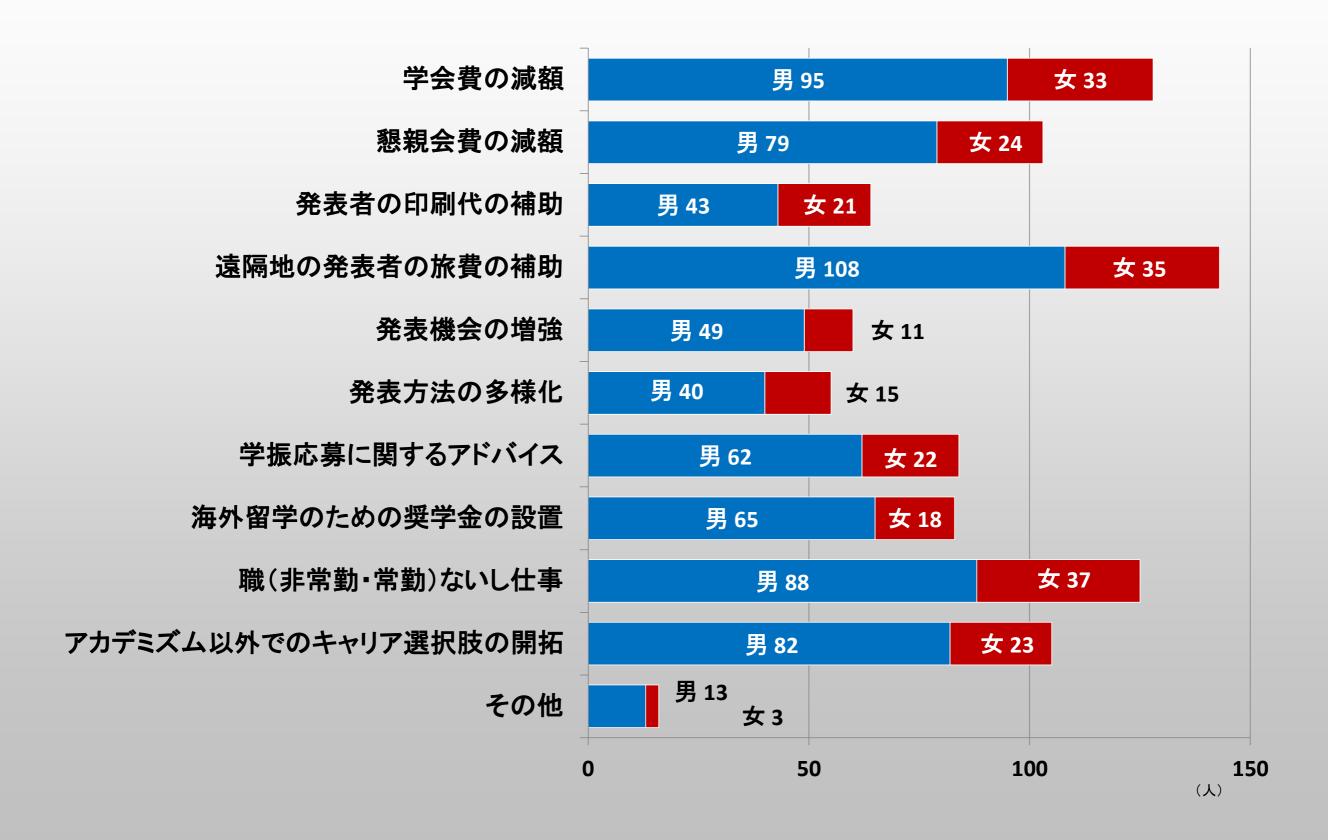


Q 現今の日本学術振興会の研究支援について、どのような問題 1.4 があると思いますか (複数選択可)



 Q_2

日本哲学会および人文社会系の学会は、大学院生および非一常勤職研究者に対して、どのような支援策を講じるべきと思いますか (複数選択可)



 Q_2

日本哲学会および人文社会系の学会は、大学院生および非一常勤職研究者に対して、どのような支援策を講じるべきと思いますか (複数選択可)

